

新型コロナウイルス感染症対策に係る熊本県のリスクレベルを【レベル2警戒】に引き上げます

直近1週間（6月16日（火）から6月22日（月））で新規感染者が1名確認されたことを踏まえ、専門家の意見も伺い、総合的に判断した結果、別添のとおり6月23日（火）からのリスクレベルを【レベル2警戒】に引き上げます。

【概要】

1 期間中の感染状況

期 間	新規感染者数	うちリンクなし感染者数
6月16日（火）～6月22日（月）	1名	1名

2 熊本県リスクレベルについて

前回（6月17日発表）	今回（6月24日発表）
レベル1注意 なお、感染状況の傾向は、先週から変化は見られない	レベル2警戒 なお、感染状況の傾向は、先週から変化は見られない

※詳細は別添のとおり。

3 対策について

レベル2の対策例として、【感染拡大リスクを高める3つの密が重なる催事の自粛要請】と【不特定多数が利用する県有施設の閉館】を定めています。

現在の感染拡大状況を総合的に判断し、県有施設の閉館については、感染の拡大傾向が確認されていないことから行いません。

また、催事の開催については、3密を避けていただくよう、従前からお願いしています。

4 県民の皆様へのお願い

三つの密の回避、手洗い等の手指衛生、人と人との距離の確保、マスク着用等の基本的な感染防止対策を行い、「新しい生活様式」の実践をお願いします。
※外出自粛、イベントの開催制限等詳細は別添のとおり。

熊本県新型コロナウイルス感染症対策本部事務局
（健康福祉部健康危機管理課）
問合せ先：上野、緒方
電話：096-333-2630
（内線）5930、5932

熊本県における新型コロナウイルス感染症に関する概況

【令和2年（2020年）6月24日】

1 熊本県における現状認識

本県において、期間中（6/16～6/22）新規感染者が1名確認されたことから、リスクレベルを「レベル2警戒」へと引き上げる。感染状況の傾向については、当該感染者の疫学調査から、今後感染拡大につながるとは考えにくい。

国内のその他の状況として、6月19日に各種対策の緩和が行われ、県としても、国方針を踏まえた対応を発表した。今後、人の移動の増加や、イベントの増加等が予想される。

そのため、県民及び事業者の皆様に対し、熱中症予防に配慮しつつ、基本的な感染防止対策、「新しい生活様式」の実践、県の感染防止対策チェックリスト及び国が取りまとめた業種ごとの感染拡大予防ガイドラインの周知を継続することが重要である。

また、感染者の早期発見を図るため、国が6月19日にリリースした接触確認アプリの周知が必要である。

前回（6/17）	今回（6/24発表）
レベル1注意 なお、感染状況の傾向は、先週から変化は見られない。	レベル2警戒 なお、感染状況の傾向は、先週から変化は見られない。

※リスクレベルは、「特別警報」、「警報」、「警戒」、「注意」、「平常」の5区分で判断する。

※レベルに加え、感染状況の傾向の判断を行う。

[熊本県リスクレベル]

※あくまでも目安であり、現状がどのリスクレベルに位置付けられるか、また、具体的な対策は

本県あるいは全国の感染状況及びその傾向（拡大・縮小）を踏まえ、実施する地域やその内容も含め、総合的に判断する。

リスクレベル	県の判断基準	対策例
レベル4 特別警報	県内で ①新規感染者15名以上 かつ ②リンク無し感染者8名以上	レベル3の対策に加え ・不要不急の外出自粛要請 ・県外等への移動自粛を要請 ・全ての催事等の自粛要請 ・施設への休業要請
レベル3 警報	県内で ①新規感染者10名以上 又は ②リンク無し感染者5名以上	レベル2の対策に加え ・週末等の不要不急の外出自粛要請 ・催事等の自粛要請 ・施設への休業要請
レベル2 警戒	県内で①新規感染者が発生 かつ ②レベル3に該当しない場合	レベル1の対策に加え ・感染拡大リスクを高める3つの密が重なる催事の自粛要請 ・不特定多数が利用する県有施設の閉館
レベル1 注意	①国内で新規感染者が発生 かつ ②県内では新規感染者が未発生	レベル0の対策に加え ・3つの密が重なる感染拡大リスクが高い活動や催事において、まん延防止対策を行う
レベル0 平常	国内で新規感染者が確認されていない	・新しい生活様式の広報・実践

※「リンク無し感染者」とは、感染源が特定できないもの。

※レベルを上げる場合は、週ごとに総合的に判断し、レベルを下げる場合は、前週、前々週の発生状況を踏まえ、同様に判断する。

※各所管施設の開閉においては、所在する市町村と情報共有し、調整に努めること。

※3つの密とは、①密閉空間（換気の悪い密閉空間である）、②密集場所（多くの人が密集している）、③密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）

2 熊本県・熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長コメント (6月23日現在)

- 熊本県では5月9日以降、1か月以上新規感染が確認されていなかったが、先週(6月16日から22日)、天草保健所管内において、感染者1名が確認された。
- 当該感染者については、福岡県から熊本県に転居された当日に感染が疑われ、翌日に検査が行われたため、県内で感染が拡大する可能性は低いと考えられるが、濃厚接触者を含め、今後の状況を注視する必要がある。
- このような状況から、熊本県は「レベル2警戒」に引き上げることが妥当である。
- なお、熊本市内では感染者は確認されていないため、熊本市においては「レベル1注意」を継続するものの、いつ市内で発生してもおかしくないという認識のもと、感染防止に努める必要がある。
- また、6月19日に、国の基本的対処方針に基づき各種対策の緩和が行われ、熊本県においても、国方針を踏まえた対応を発表されたことにより、今後も新たな感染者が来熊する可能性は否定できない。
- 今回は、県と市でリスクレベルが異なるものの、県民・市民及び事業者の皆様には、気を緩めることなく、引き続き熱中症予防に留意しつつ、「新しい生活様式」の実践に取り組んでいただきたい。
- あわせて、厚生労働省が開発した接触確認アプリ「COCOA」が広く活用されることで、感染拡大の端緒を捉えることが可能になると考えられるため、県民・市民への周知を促進していく必要がある。

3 県民の皆様へのお願い（6月24日発表）

熊本県のリスクレベルを【レベル2警戒】と引き上げました。
また、感染状況の傾向に変化はありません。
つきましては、感染防止のため、次の対応をお願いします。

（1）基本的な考え方

- ・ 三つの密の回避、手洗い等の手指衛生、人と人との距離の確保、マスク着用等の基本的感染防止をお願いします。
- ・ 「新しい生活様式」の実践をお願いします。

（2）外出自粛について

- ・ 県をまたぐ移動は基本的に自由となりますが、引続き「三つの密」のある場及び感染が流行している地域へは、「新しい生活様式」の一環として、移動を控えてください。

（3）イベントの開催制限について

- ・ 感染拡大リスクを高める3つの密が重なる催事については自粛してください。
- ・ 全国的又は広域的な人の移動が見込まれ、参加者の把握が困難なお祭り・野外フェス等の開催は、中止を含めて慎重に検討してください。
- ・ 屋内のコンサート、展示会等については、収容率50%以内かつ1,000人以下のものは可能です。
- ・ 屋外のコンサート等については、十分な間隔(できれば2m)を取り、かつ1,000人以下のものは可能です。
- ・ 参加者がおおよそ把握できる地域の行事（盆踊り等）については、適切な感染防止策を講じたうえで実施してください。
- ・ プロスポーツ等は、無観客試合は可能ですが、主催者において選手・出演者等に対し、適切な感染予防策を講じてください。
- ・ いずれのイベント実施も、3密を避ける等の基本的な感染防止の徹底が条件です。

（4）事業者の感染防止活動について

- ・ 県が示したチェックリスト、国が取りまとめている業種ごとの感染拡大予防ガイドラインにより、十分感染防止活動を行ってください。
- ・ 県民の皆様は、感染防止活動を行っているお店を選んで利用してください。

（5）その他

- ・ 厚生労働省がリリースした接触確認アプリについては、積極的な利用をお願いします。

